

GA-8IRXP  
P4 Titan-DDR マザーボード

## ユーザーズマニュアル

Pentium®4 プロセッサ用マザーボード  
リビジョン2.0 二版.  
12M D-8IRXP-2002

# 目次

付属品のチェックリスト.....	3
警告! .....	3
第1章 はじめに.....	4
機能のまとめ .....	4
GA-8IRXP マザーボードのレイアウト.....	6
第2章 ハードウェアの取り付けプロセス.....	7
手順 1: 中央処理装置 (CPU) の取り付け .....	8
手順 1-1 CPU の取り付け.....	8
手順 1-2 : CPU ヒートシンクの取り付け.....	9
手順 2: メモリモジュールの取り付け.....	10
手順 3: 拡張カードの取り付け .....	11
手順 4: リボンケーブル キャビネットワイヤ、電源装置の接続.....	12
手順 4-1 : I/O 背面パネルの概要 .....	12
手順 4-2 : コネクタとジャンパ設定の概要.....	14
第3章 BIOSのセットアップ .....	20
メインメニュー .....	20
デュアルBIOS/Q-Flashユーティリティ .....	20
言語の選択 .....	20
最適化されたデフォルトのロード .....	22
保存と終了のセットアップ .....	23
第4章 ドライバのインストール.....	24

## 付属品のチェックリスト

- GA-8IRXP マザーボード
- IDE ケーブル x 3 / フロッピーケーブル x 1
- マザーボードドライバとユーティリティ用CD (特別なCD)
- GA-8IRXP ユーザーズマニュアル
- クリックPC取り付けガイド
- 2ポートUSB ケーブル x 1
- I/O シールド



### 警告!

コンピュータのマザーボードと拡張カードには、精巧な集積回路(IC)が組み込まれています。この集積回路が静電気により損傷しないように、コンピュータを操作するときは、常に次の注意事項を守る必要があります。

1. コンピュータの内部を操作するときは、コンピュータの電源を抜く。
2. コンピュータのコンポーネントを取り扱う前に、アースされたリストバンドを付ける。お持ちでない場合は、安全にアースされた物体か、電源装置のケースなどの金属物体に両手を置いてください。
3. コンポーネントの両端をつかみ、ICチップ、リード線やコネクタ、またはその他のコンポーネントに触れないようにする。
4. コンポーネントをシステムから取り外すとき、コンポーネントはアースされた静電気防止パッドの上、またはコンポーネントに付属する袋の上に置く。
5. マザーボードのATX 電源コネクタをコンセントにつなげたりコンセントから抜く前、ATX 電源装置のスイッチをオフにしていることを確認する。

### マザーボードをシャーシに取り付ける…

マザーボードの取り付け穴が台の穴に揃っていない場合、またスペーサーに接続するスロットがない場合、心配するには及びません。以下の方法で、取り付け穴にスペーサーを取り付けることができます。スペーサーの下部分を切り取ります（スペーサーはとても堅いので、手を傷つけないように注意してください）。このようにして、ショートの心配をすることなしにマザーボードを台上に取り付けることができます。マザーボードのP C B 面からネジを絶縁するためにプラスチックのスプリングを使用する必要があるときがありますが、これは回路のワイヤが穴の傍にあるためです。固定穴の傍にあるP C B の回路書き込みやパーツにネジが触れないようご注意ください。そうでないと、ボードが破損したり、ボードが誤動作を引き起こす原因となります。

## 第1章 はじめに

### 機能のまとめ

フォームファクタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>30.6cm x 24.4cm ATX サイズのフォームファクタ、4 層 PCB</li> </ul>
CPU	<ul style="list-style-type: none"> <li>Intel® Micro FC-PGA2 Pentium® 4 プロセッサ用のSocket 478</li> <li>Intel Pentium® 4 400MHz FSB</li> <li>CPUによっては 2番目のキャッシュ</li> </ul>
チップセット	<ul style="list-style-type: none"> <li>Chipset 82845 HOST/AGP/Controller</li> <li>82801BA(ICH2) I/O コントローラー</li> </ul>
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 184 ピン DDR DIMM ソケット</li> <li>PC1600 DDR または PC2100 DDR DIMM をサポート</li> <li>最高2GB DRAMまでサポート</li> <li>2.5V DDR DIMMのみをサポート</li> <li>64ビットのECC タイプ DRAM の完全性モードをサポート</li> </ul>
I/O コントロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT8712</li> </ul>
スロット	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 CNR(通信ネットワークライザ)スロット</li> <li>1 AGP スロット4X (1.5V専用)デバイスのサポート</li> <li>6 PCIスロットが 33MHz &amp; PCI 2.2 準拠をサポート</li> </ul>
オンボードIDE	<ul style="list-style-type: none"> <li>Intel 82801BA PCIチップセット上の2DEコントローラはPIO、バスマスター(Ultra DMA33/ATA66/ATA100)オペレーティングモードでIDE HDD/CD-ROM (IDE1, IDE2)を提供します。</li> <li>IDE3とDE4はRaid、Ultra ATA133/100、EIDEと互換性を持っています(CD-ROMとATAPIのサポートはありません)</li> </ul>
オンボード周辺装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>1つのフロッピーポートが360K、720K、1.2M、1.44M および2.88M バイトの2 FDDをサポート</li> <li>1つのパラレルポートが標準EPP/ECP モードをサポート</li> <li>2つのシリアルポート(COMA &amp; COMB)</li> <li>ケーブルによる4 x USB 2.0、2 x USB 1.1およびオンボードの2 x USB 1.1</li> <li>IR用の1つのIrDA コネクタ</li> </ul>
ハードウェアモニタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>CPU/電源/システムファン回転の検出</li> <li>CPU/電源/システムファンのコントロール</li> <li>CPU過熱警告</li> <li>システム電圧の検出</li> </ul>

続く.....

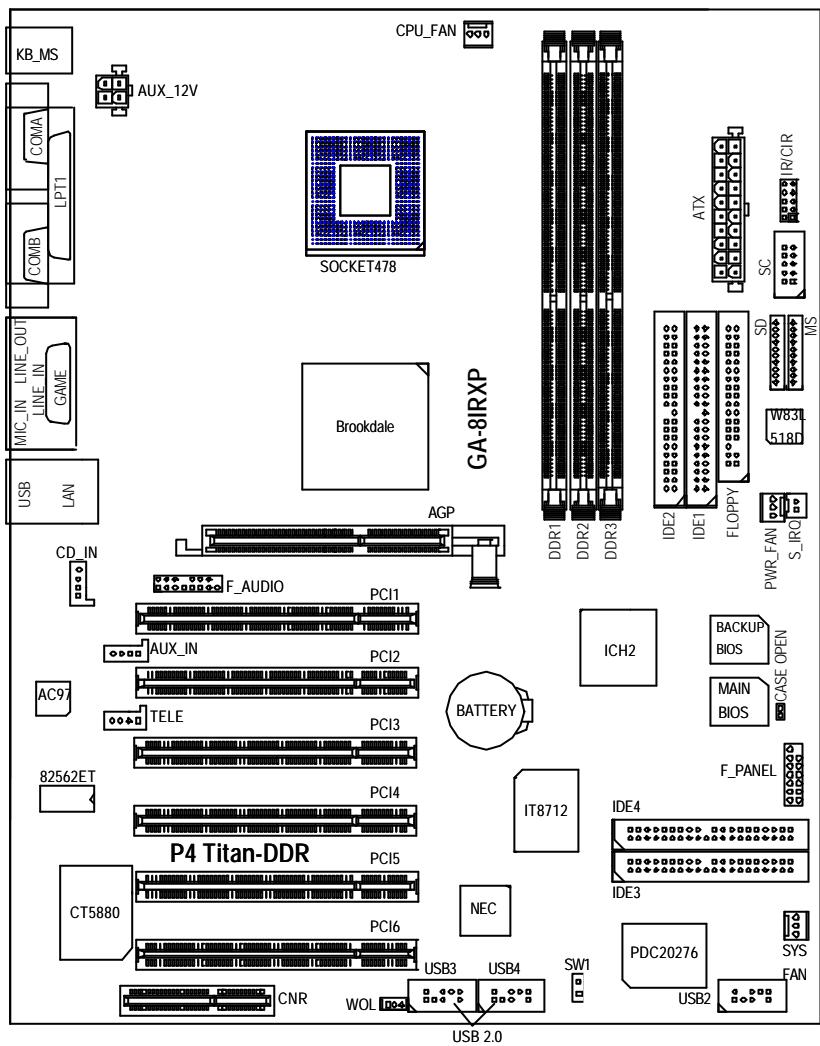
オンボードサウンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>Creative CT5880 サウンドチップセット+ SigmaTel 9708T CODEC</li> <li>ラインイン/ラインアウト/Micイン/CDイン/AUX_IN/TELE/ゲームポート</li> </ul>
オンポートRAID	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンポートPromise PDC20276</li> <li>データストリッピング(RAID 0)またはミラーリング(RAID 1)のサポート</li> <li>平行デュアルIDEコントローラ操作のサポート</li> <li>IDEバスマスタ操作のサポート</li> <li>起動時に状態とエラーチェックメッセージを表示</li> <li>ミラーリングが直重バックグラウンド再構築をサポート</li> <li>コントローラオンポートBIOSにLBAと拡張割り込み13ドライブ変換を特徴</li> </ul>
オンポートLAN	<ul style="list-style-type: none"> <li>Intel 82562ET LAN PHY</li> </ul>
オンポートUSB 2.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>NEC D720100AS1チップセット</li> </ul>
オンポートMS,SD,SC	<ul style="list-style-type: none"> <li>Winbond SMART @I/Oチップセット(メモリスティックセキュリティデジタルおよびiSCヘッド)</li> </ul>
PS/2 コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>PS/2キーボードインターフェイスとS/2マウスインターフェイス</li> </ul>
BIOS	<ul style="list-style-type: none"> <li>認可を得たAWARD BIOS、4M ビットx 2 FWH</li> <li>Dual BIOSのサポート</li> <li>多言語のサポート</li> <li>Q-Flashのサポート</li> </ul>
追加機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードによるPS/2キーボードの電源オンオフ</li> <li>PS/2マウスの電源オン</li> <li>外部モデムの呼び起し</li> <li>STR(RAMへのsuspen)</li> <li>ウェークオンLAN (WOL)</li> <li>AC回復</li> <li>キーボード過電流保護のためのポリヒューズ</li> <li>S3からUSB KB/マウスの呼び起し</li> <li>@BIOSのサポート</li> <li>EasyTuneIIIのサポート</li> </ul>
特殊機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>過電圧 (DDR/AGP/CPU)</li> <li>オーバークロック (CPU/PCI/AGP)</li> </ul>



プロセッサの仕様に従ってCPUのホスト周波数を設定してください! CPUの使用を超えてシステムバス周波数を設定することはお勧めしません。これらの特殊なバス周波数はCPU、チップセット、およびほとんどの周辺装置に対する標準仕様ではありません。お使いのシステムがこれらの特殊なバス周波数の元で正しく動作するかどうかは、CPU、チップセット、SDRAM、カードなどのハードウェア構成によって異なります。

日本語

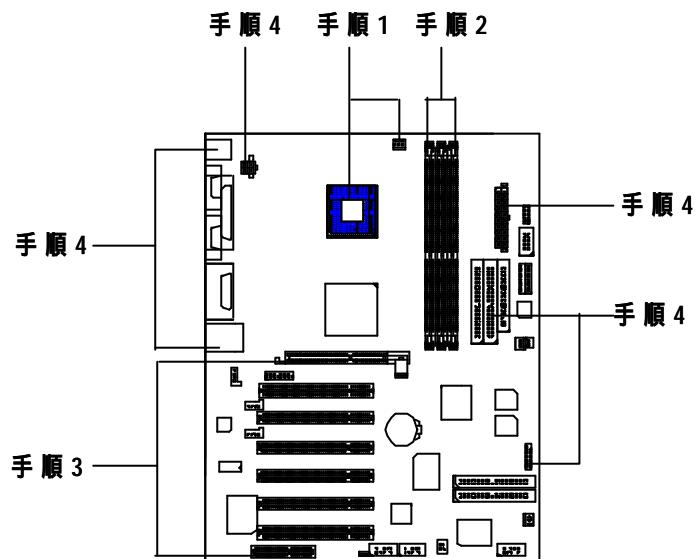
## GA-8IRXP マザーボードのレイアウト



## 第2章 ハードウェアの取り付けプロセス

コンピュータをセットアップするには 次の手順を完了する必要があります。

- 手順 1- 中央処理装置(CPU)の取り付け
- 手順 2- メモリモジュールの取り付け
- 手順 3- 拡張カードの取り付け
- 手順 4 - リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置の接続
- 手順 5- BIOSソフトウェアのセットアップ
- 手順 6- サポートソフトウェアツールの取り付け



# 日本語

## 手順 1: 中央処理装置(CPU)の取り付け 手順 1-1 CPUの取り付け



1. CPUソケットレバーを引き上げ、90度の角度に設定します。

3 CPUのソケットレバーを下に押し、CPUの取付けを完了します。

2. ソケットのピン1を探し、CPUの上方隅に(金色)のカットエッジを見つけたら、CPUをソケットに差し込みます。

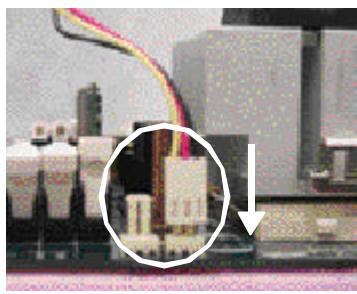
● CPUのタイプがマザーボードでサポートされているものであることを確認してください。

● CPUソケットのピン1とCPUのカットエッジが一致しないと、取り付けはうまくいきません。挿入方向を変えてください。

## 手順 1-2 : CPU ヒートシンクの取り付け



1. ヒートシンクの支持ベースをメイン  
ボードのCPUソケットに固定します。



2. CPU ファンがCPU ファンコネクタに差  
し込まれていることを確認し、取付  
けを完了します。

- インテル公認のクーリングファンを使用してください。
- ヒートシンクの熱伝導をよくするために、感熱テープをご使用になるよう推奨  
します(クーリングファンは、感熱糊の硬化によってCPUにしっかりと固定され  
ることがあります。このとき、クーリングファンを取り外そうとすると、クーリングファンと  
ともにソケットからプロセッサだけが外れ、そのためプロセッサが破損するこ  
があります。これを防ぐために、感熱糊の変わりに感熱テープを使うか、最新  
の注意を払ってクーリングファンを取り外すようにお勧めします)。
- ファンの電源ケーブルがファンのコネクタに差し込まれていることを確認し  
ます。これで、取り付けは完了しました。
- 取り付けの詳細については、ヒートシンクのユーザーズマニュアルを参照して  
ください。

## 手順 2: メモリモジュールの取り付け

マザーボードには3つのデュアルラインメモリモジュール(DIMM)が搭載されていますが、最大4バングルのDDRメモリをサポートすることができます。DDRスロット1から3つのバングルを使用し、DDRスロット2&3が残りの2バングルを共有します。サポートされる使用可能なメモリ構成については、次の表を参照してください！BIOSはメモリの種類とサイズを自動的に検出します。メモリモジュールを取り付けるには、DIMMスロットに垂直に押し込みます。DIMMモジュールはノッチがあるため一方向にしかフィットしません。メモリサイズはソケットごとに異なります。

パッファなしDDR DIMMを備えた全メモリサイズ

DIMMで使用されるデバイス	1 DIMM x 64 / x 72	2 DIMMs x 64 / x 72	3 DIMMs x 64 / x 72
64 Mビット(2Mx8x4バングル)	128 Mバイト	256 Mバイト	256 Mバイト
64 Mビット(1Mx16x4バングル)	32 Mバイト	64 Mバイト	96 Mバイト
128 Mビット(4Mx8x4バングル)	256 Mバイト	512 Mバイト	512 Mバイト
128 Mビット(2Mx16x4バングル)	64 Mバイト	128 Mバイト	196 Mバイト
256 Mビット(8Mx8x4バングル)	512 Mバイト	1 Gバイト	1 Gバイト
256 Mビット(4Mx16x4バングル)	128 Mバイト	256 Mバイト	384 Mバイト
512 Mビット(16Mx8x4バングル)	1 Gバイト	2 Gバイト	2 Gバイト
512 Mビット(8Mx16x4バングル)	256 Mバイト	512 Mバイト	768 Mバイト

注: 両面x16 DDRメモリデバイスはIntel 845チップセットではサポートされません。

DDR1	DDR2	DDR3
S	S	S
D	S	S
D	D	X
D	X	D
S	D	X
S	X	D

D:両面DIMM S:片面DIMM

X:使用されていません



DDR



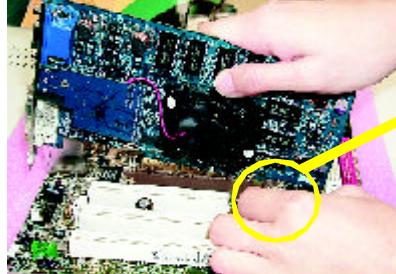
1. DIMMスロットにはノッチがあるため、DIMMメモリモジュールは一方向にしかフィットしません。
2. DIMMメモリモジュールをDIMMスロットに垂直に差し込み、下に押します。
3. DIMMスロットの両端にあるプラスチックのクリップを開じて、DIMMモジュールをロックします。DIMMモジュールを取り外す時は、取り付け手順の反対の操作を行って下さい。



- STR / DIMM LEDがオンになっているとき、ソケットからDIMMの取り付取り外しを行わないでください。
- ノッチがあるため、DIMMモジュールは一方向にしかフィットしないことに注意してください。間違った方向に差し込むと、取り付けをうまく行えません。差し込む方向を変えてください。

## 手順 3: 拡張カードの取り付け

1. コンピュータに拡張カードを取り付ける前に、関連する拡張カードの説明書をよくお読みください。
2. コンピュータからコンピュータのシャーシカバー、ネジ、スロットプラケットを取り外します。
3. 拡張カードをマザーボードの拡張スロットにしっかりと押し込みます。
4. カードの金属接合部がスロットに固定されていることを確認します。
5. ネジをまた取り付けて、拡張カードのスロットプラケットをしっかりと締め付けます。
6. コンピュータのシャーシカバーを元に戻します。
7. コンピュータの電源をオンにし、必要に応じて、BIOSから拡張カードのBIOSユーティリティをセットアップします。
8. オペレーティングシステムから関連するドライバをインストールします。



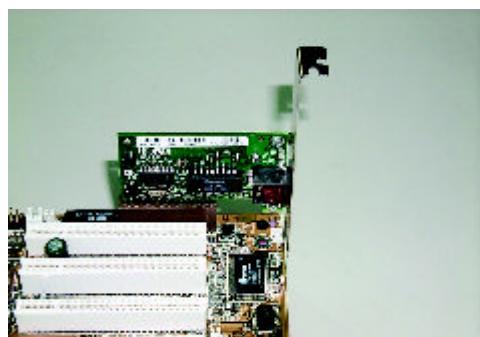
AGPカード



AGPカードの取り付け/取り外しを試みるとき、AGPスロットの端にある小さな白い引き抜き可能バーを引き出してください。オンボードAGPスロットとAGPカードの位置を合わせ、スロットにしっかりと押し込みます。AGPカードが小さな白い引き抜き可能バーによってロックされていることを確認します。

### ○取り付けるときに注意すべき問題

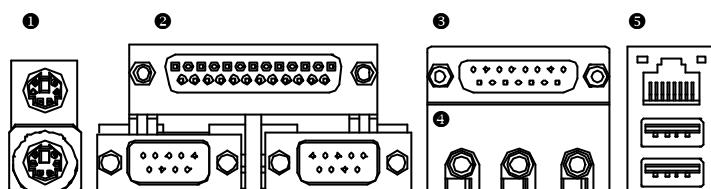
機械上の問題を避けるために、標準のカードをご使用ください。



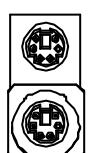
標準のCNRカード

## 手順 4: リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置の接続

### 手順 4-1: I/O 背面パネルの概要



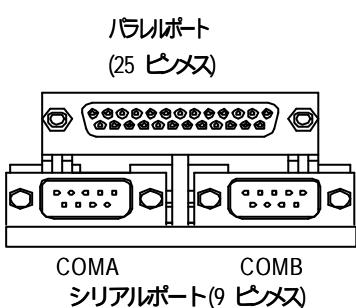
#### ① PS/2キー ボードとPS / 2 マウスコネクタ



PS/2マウスコネクタ  
(6 ピンメス)  
PS/2 キーボードコネクタ(6ピ  
ンメス)

➤ このコネクタは 標準のPS/2キー ボー  
ドとPS/2マウスをサポートしていま  
す。

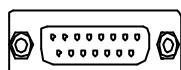
#### ② パラレルポートとシリアルポート(COMA/COMB)



パラレルポート  
(25 ピンメス)

➤ このコネクタは2つの標準COMポートと1つの  
パラレルポートをサポートしています。プリ  
ンタのようなデバイスは、パラレルポートに接  
続できます。マウスやモデムなどは、シリア  
ルポートに接続できます。

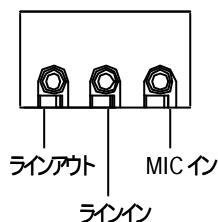
### ③ ゲーム / MIDI ポート



ジョイスティック / MIDI (15 ピン)

このコネクタはジョイスティック、MIDI キーボード、およびその他の関連オーディオデバイスをサポートしています。

### ④ オーディオコネクタ

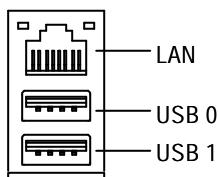


オンボードオーディオドライバをインストールした後、スピーカーをラインアウトジャックやマイクをMICインジャックに接続できます。CD-ROM、ウォークマンなどのデバイスは、ラインインジャックに接続できます。  
注意: ラインアウト: ラインアウトまたはSPDIF (SPDIF出力はデジタルオーディオを外部スピーカーに、または圧縮されたAC3データを外部 Dolbyデジタルコーダーに提供することができます)。SPDIFを有効にするには、SPDIFをラインアウト1に差し込みます。ラインアウト1はSPDIFアウトに自動的にになります。4スピーカーを有効にすると(Creative 5880オーディオ専用)、ラインインはラインアウト2になってステレオスピーカーの2番目のペアをサポートします。



*“Four Speaker & SPDIF”セットアップに関する詳細は、Gigabyte の Web サイト、<http://www.gigabyte.com.tw> から 8IRXP マニュアル完全版をダウンロードしてお調べください。*

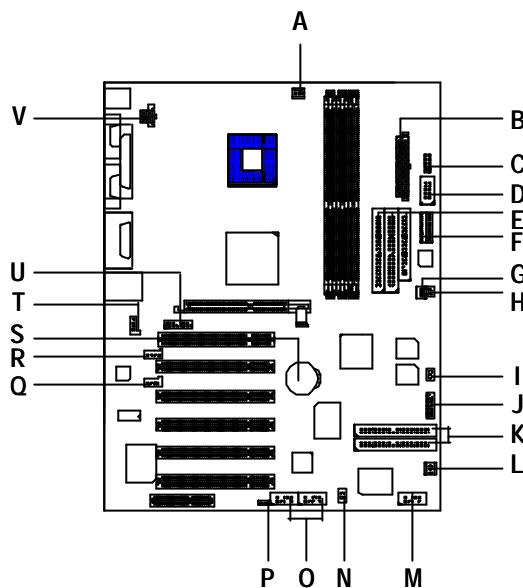
### ⑤ USB / LAN コネクタ



デバイスをUSBコネクタに接続する前に、USBキーボード、マウス、スキャナ、zip、スピーカーなどのデバイスが標準のUSBインターフェイスを搭載しているか確認してください。また、お使いのOS (USB補助を装備したWin98、Windows 2000、Windows ME、SP 6を装備したWinNT) がUSBコントローラをサポートしていることを確認してください。OSがUSBコントローラをサポートしていない場合、OSBベンダーに連絡してバッチやドライバをアップグレードしてください。詳細については、OSまたはデバイスベンダーにお問い合わせください。

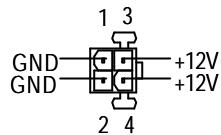
日本語

## 手順4-2:コネクタとジャンパ設定の概要



A) CPU_FAN	L) SYS_FAN
B) ATX	M) USB2
C) IR/CIR	N) SW1
D) SC	O) USB3/USB4
E) IDE1/IDE2/フロッピー	P) WOL
F) SD/MS	Q) TELE
G) PWR_FAN	R) AUX_IN
H) S_IRQ	S) BAT
I) CASE_OPEN	T) CD_IN
J) F_Panel	U) F_AUDIO
K) IDE3/IDE4	V) AUX_12V

### V) AUX\_12V(+12V 電源コネクタ)



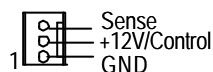
➤ このコネクタ(ATX +12V)はCPUコア電圧の場合のみ使用できます。

### A) CPU\_FAN (CPU ファンコネクタ)

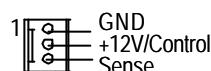


➤ CPUクーラーの適切な取り付けは、CPUが異常な状態で動作したり、過熱による破損などから守るために欠くことができない。CPUファンコネクタは、最高600mAまでの電流をサポートします。

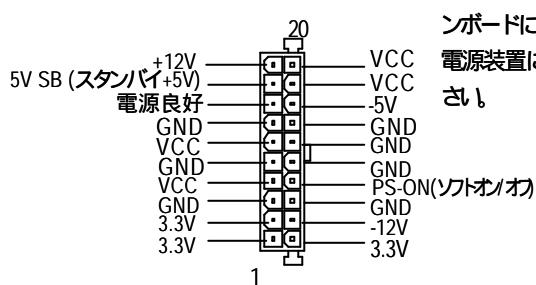
### G) PWR\_FAN (電源ファンコネクタ)



### L) SYS\_FAN (システムファンコネクタ)



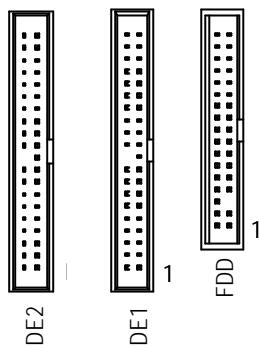
### B) ATX (ATX 電源コネクタ)



➤ AC電源コードは、必ずATX電源ケーブルと他の関連デバイスをメインボードにしっかりと接続した後で、電源装置に接続するようにしてください。

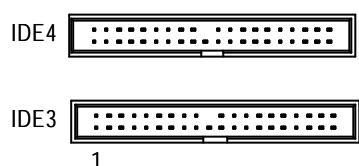
# 日本語

## E) フロッピードライブコネクタ(プライマリ/ セカンダリ)

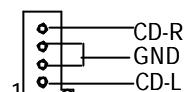


➤ 重要な通告:  
まずハードディスクをIDE1に接続し  
てから、CDROMをIDE2に接続して  
ください！

## K) IDE3/IDE4 コネクタ (RAID/ATA133)

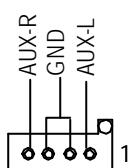


## T) CD\_IN (CD オーディオインコネクタ)

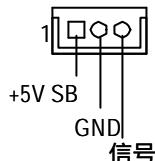


 “RAID”セットアップに関する詳細  
は、Gigabyteのwebサイト、<http://www.gigabyte.com.tw>から8IRXPマニュ  
アル完全版をダウンロードしてお調べ  
ください。

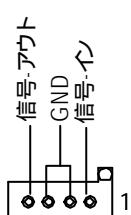
## R) AUX\_IN (AUX インコネクタ)



## P) WOL(ウェークオンLAN)

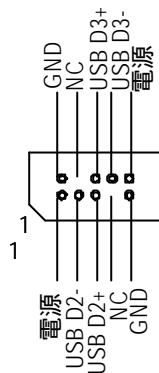


## Q) TELE



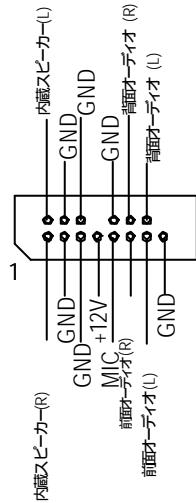
➤ コネクタは音声コネクタを搭載し  
た内蔵モデムカード用です。

M, O) USB2/USB3/USB4(オレンジ色のUSB3&4コネクタはUSB 2.0用です)

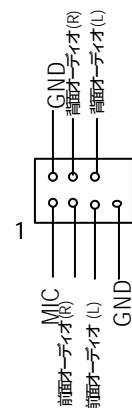


➤ フロントパネルUSBコネクタの極性に注意してください! フロントパネルUSBケーブルに接続している間、ビン割り当てをチェックしてください。オプションのフロントパネルUSBケーブルについては、最寄りの販売店にお問合せください。

Q) F\_AUDIO (F\_AUDIO Connector)  
前面オーディオコネクタには2つのタイプがあります。取り付ける前に下の表を参照してください。



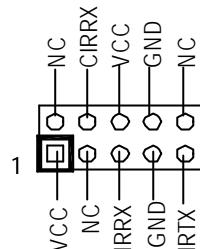
タイプ



タイプ

## 日本語

### C) IR/CIR (IR/CIR)

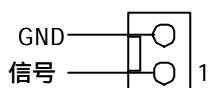


➤ IR デバイスのピン1がコネクタのピン1と一直線に並んでいることを確認してください。ポートのIR / CIR機能を有効にするには、オプションIR / CIR モジュールをお求めになる必要があります。詳細については、公認のGiga-Byte代理店にお問合せください。IR機能のみを使用するには、IRモジュールをピン1からピン5に接続してください。

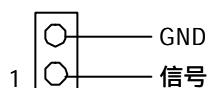
### D,F) SC (スマートカードインターフェイス), SD(セキュアデジタルメモリカードインターフェイス), MS (メモリスティックインターフェイス)



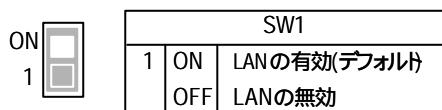
### H) S\_IRQ



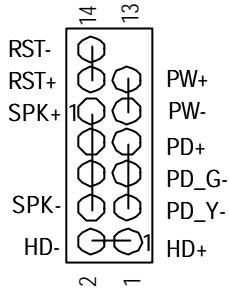
### I) CASE\_OPEN



### N) SW1



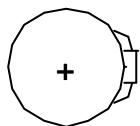
## J) F\_PANEL (2x7ピンコネクタ)



HD (IDEハードディスクのアクティブLED)	ピン1: LED陽極(+) ピン2: LED陰極(-)
SPK (スピーカーコネクタ)	ピン1: VCC(+) ピン2- ピン3: NC ピン4: データ(-)
RST (リセットスイッチ)	開く標準操作 閉じる: ハードウェアシステムのリセット
PD+/PD_G-/PD_Y-(電源LED)	ピン1: LED陽極(+) ピン2: LED陰極(-) ピン3: LED陰極(-)
PW (ソフトによる電源コネクタ)	開く標準操作 閉じる: 電源 / オフ

➤ シャーシフロントパネルの電源LED、PCスピーカー、リセットスイッチ、電源スイッチなどを、上のピン割り当てに従ってF\_PANELコネクタに接続してください。

## S) BAT (バッテリ)



## 注意

- ❖ 交換するとき、バッテリの向きを間違って入れると、爆発する恐れがあります。
- ❖ メーカーが推奨するバッテリ、または同等のタイプのバッテリと交換してください！
- ❖ 使用済みバッテリの処分は、メーカーの指示に従ってください！

## 第3章 BIOSのセットアップ

BIOSのセットアップとBIOS セットアッププログラムの概要です。このプログラムにより、ユーザーは基本構成を変更することができます。このタイプの上方はバッテリでバックアップされた CMOS RAM に格納されているので、電源がオフになっているときでもセットアップ情報は保持されます。

### セットアップに入る

コンピュータの電源をオンにした後 POST (電源オン自己試験) の間に直ちに<Del> を押すと Award BIOS CMOS SETUPに入ることができます。

## ヘルプの表示

メインメニュー

強調表示されたセットアップ機能のオンラインの説明は、画面の下部に表示されています。

ステータスページのセットアップメニュー / オプションページのセットアップメニュー

F1 を押すと小さなヘルプウィンドウがポップアップ表示され、適切なキーの使用法と該当表示された項目の考え方される選択について説明します。ヘルプウィンドウを終了するには <Esc> を押します。

メインメニュー

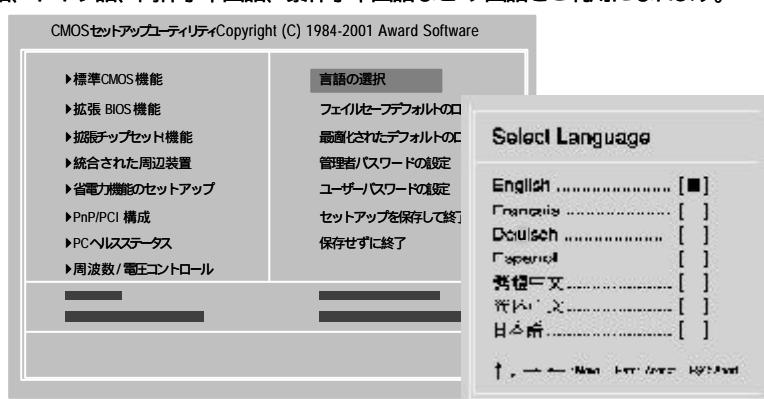
Award BIOS CMOSセットアップユーティリティをオンになると、メインメニューが画面に表示されます。メインメニューでは8つのセットアップ機能と2つの終了選択を選択することができます。矢印キーを使用して項目を選択し、<Enter>を押して選択を受け入れるか、サブメニューに入ります。

### デュアルBIOS / 0 - フラッシュコ-ティリテイ

コンピュータの電源をオンにした後、POST(電源オン自己試験)の間に直ちに<Del>を押すと DualBIOS/Q-Flashユーティリティに入ります。DualBIOS / Q - Flash ユーティリティの詳細については、Gigabyte の web サイト、<http://www.gigabyte.com.tw> からこのマニュアルをダウンロードしてお調べください。

## 言語の選択

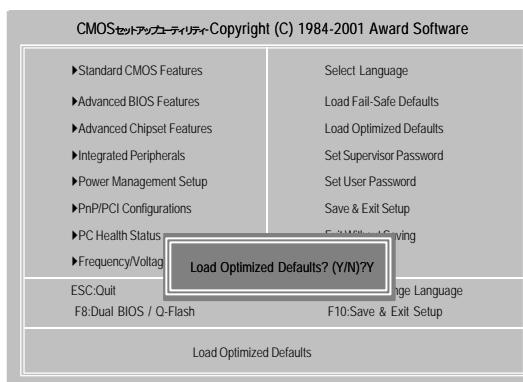
<Shift>+<F3>を押すと多言語を選択できます。英語、日本語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、簡体字中国語、繁体字中国語など、国語をご利用になれます。



- **標準のCMOS機能**  
このセットアップページには、標準の互換BIOSに関するすべての項目が含まれています。
- **拡張 BIOS機能**  
このセットアップページには、Awardの特殊機能に関するすべての項目が含まれています。
- **拡張チップセット機能**  
このセットアップページには、チップセットに関する特殊機能のすべての項目が含まれています。  
**本当に必要なとき意外は、チップセットのデフォルトの設定を変更しないようにお勧めします。**
- **統合された周辺装置**  
このセットアップページには、すべてのオンボード周辺装置が含まれています。  
**本当に必要なとき意外は、チップセットのデフォルトの設定を変更しないようにお勧めします。上級のエンドユーザー専用。**
- **省電力機能のセットアップ**  
このセットアップページには、クリーン機能のすべての項目が含まれています。  
**本当に必要なとき意外は、チップセットのデフォルトの設定を変更しないようにお勧めします。上級のエンドユーザー専用。**
- **PnP/PCI構成**  
このセットアップページには、PCI & PnP ISAリソースに関するすべての構成が含まれています。  
**本当に必要なとき意外は、チップセットのデフォルトの設定を変更しないようにお勧めします。上級のエンドユーザー専用。**
- **PCヘルスステータス**  
このセットアップページでは、システムが温度、電圧、ファン、速度を自動的に検出します。
- **周波数電圧コントロール**  
このセットアップページでは、CPUのクロック速度と周波数速度をコントロールします。  
**上級のエンドユーザー専用。**
- **言語の選択**  
このセットアップページでは、多言語を選択します。

- **フェイルセーフデフォルトのロード**  
フェイルセーフデフォルトでは、システムが安全な構成になれる、システムパラメータの値を示します。
- **最適化されたデフォルトのロード**  
最適化されたデフォルトは、システムが最高のパフォーマンス構成になれるシステムパラメータの値を示します。
- **管理者パスワードの設定**  
パスワードを変更、設定、または無効にします。このオプションにより、システムやセットアップへのアクセスを制限したり、セットアップにだけアクセスできるように設定できます。
- **ユーザーパスワードの設定**  
パスワードを変更、設定、または無効にします。このオプションにより、システムへのアクセスを制限できます。
- **セットアップを保存して終了**  
SMOS値の設定をCMOSに保存して、セットアップを終了します。
- **保存せずに終了**  
すべてのCMOS値の変更を破棄し、セットアップを終了します。

### **最適化されたデフォルトのロード**

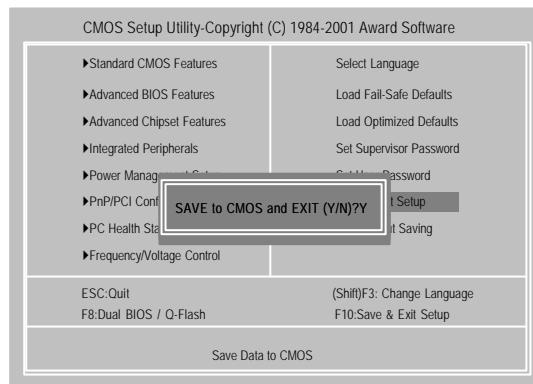


#### ☞ **最適化されたデフォルトのロード**

このフィールドを選択すると、BIOSおよびチップセット機能に関する工場出荷時のフェイルセーフデフォルトをロードして、それをシステムが自動的に検出します。

最適化されたデフォルトをロードするには、キーボードの矢印キーを押すことにより、カーソルを移動して、最適化されたデフォルトを強調表示し、Enterキーを押してから、このオプションをロードする場合は"Y"を押します。

## セットアップを保存して終了



☞ BIOS設定画面を保存して終了するには、F10を押してから、  
設定を保存する場合は"Y"を押します。"N"または"ESC"を  
入力すると、セットアップ画面に戻ります。



BIOSセットアップに関する詳細は、Gigabyteのwebサイト、<http://www.gigabyte.com.tw>  
から8IRXP(完全版)マニュアルをダウンロードしてお読みください。

日本語

## 第4章 ドライバのインストール

下の写真はWindows ME (特別なCD)の場合に表示されます。

マザーボードに付属するドライバのCDタイトルをCD-ROMドライブに挿入すると、ドライバCDタイトルが自動的に起動してインストールガイドを表示します。表示されない場合、[マイコンピュータ]のCD-ROMデバイスアイコンをクリックし、setup.exeを実行します。

### A. Intel 845チップセットドライバのインストール

まず第一に、このドライバをインストールしてください！このアイテムはチップセットドライバーコーディリティをインストールし、Intelチップセットコントローネットに対するPlug-n-Play INFサポートを有効にします。

### B. オーディオドライバのインストール

このアイテムをクリックしてオーディオドライバをインストールします。

### C. ネットワークドライバのインストール

このアイテムをクリックしてネットワークドライバをインストールします。

### D. Promise PCIデバイスドライバのインストール

このアイテムをクリックしてPromise PCIデバイスドライバをインストールします。

### E. SD, MS, SC ドライバのインストール

このアイテムをクリックしてSD, MS, SC関連のデバイスドライバをインストールします。

### F. USB 2.0ホストコントローラドライバのインストール

このアイテムをクリックしてUSB3,USB4(オレンジ色のコネクタはUSB 2.0用です)ドライバをインストールします。



**A: Intel 845チップセットドライバのインストール**  
 画面に表示されるセットアップに従って、ユーティリティをインストールします。



A-1. Windows 9x/ME/2000/XP INF アップデートユーティリティ  
 "Windows 9x/ME/2000/XP INF Update Utility" アイテムをクリックします。

A-2. Intel Ultra ATA ストレージドライバ  
 "Intel Ultra ATA Storage Driver" アイテムをクリックします。

**B: オーディオドライバのインストール**



"Creative CT5880サウンドドライバ" アイテムをクリックします。

**C: ネットワークドライバのインストール**



"ドライバ情報" をクリックします。

**D: RAIDドライバのインストー**



"ATA100"と"RAID"セットアップに関する詳細は  
 Gigabyte の web サイト、<http://www.gigabyte.com.tw>からBIOSマニュアル(完全版)をダウンロードしてお調べください！